

理事会便り

第3回 常任理事会議事録

日時 昭和35年8月6日 11.00~14.20
 場所 神田一ツ橋 学士会館
 出席者 榎庭, 根本, 今井, 岩保, 松本, 吉武, 島山
 有住, 淵, 各理事 (順序不同)

決議

- 各担当委員は別紙のようにお願いすることとなった。
- 大気汚染のシンポジウムを追加して10月末に開くこととなった。
- 日中友好協会で学者を派遣する件は松本理事が具体案を作成して、次回理事会で検討することとなった。
- 日本学術会議からの、学術雑誌の英語版作成に関する件は、島山理事が学術会議事務局に詳細内容照会の上、あらためて討議することとなった。
- 来年度の北海道における大会は、春、秋何れにするか、電力気象をも考慮して検討することとなった。

日本気象学会第11期担当役員ならびに委員一覧表
 (五十音順)

- 庶務委員 担当理事 淵秀隆, 同松本誠一, 同根本順吉

- 会計委員 担当理事 吉武素二, 鈴木徹, 赤松英雄
- 外国関係委員 担当理事 磯野謙治, 毛利圭太郎, 土屋清
- 学会連合委員 担当理事 島山久尚
- 気象集誌編集委員 担当理事 榎庭信一, 荒川昭夫, 倉嶋厚, 駒林誠
- 天気編集委員 担当理事 有住直介, 山田一, 神子敏郎, 小嶋盤雄, 小林寿太郎, 齋藤直輔, 長尾隆, 吉野正敏, 関口理郎
 地区委員 北海道 山崎正博
 東北 藤沢正義
 関東 正務 章
 関西 喜多村一男
 九州 坂田勝茂
- 気象研究ノート編集委員 担当理事 根本順吉, 同神山恵三, 伊藤直次, 鯨井孝一, 竹内清秀, 広瀬元孝, 栗原宣夫
- 講演企画委員会委員 担当理事 今井一郎, 同神山恵三, 同松本誠一, 上松清, 朝倉正石原健二, 大井正一, 竹内清秀, 武田武, 渡辺和夫
- 外国文献委員 担当理事 正野重方, 同榎庭信一, 同吉武素二, 伊東疆自

学会消息

1. テキサスに洪水

6月23日(木)夜から降った雨量は平均で600mb(不確実)に達し、このためテキサスの海岸地方は洪水となり、少なくとも8名の死者および2名の行方不明がでた。

2. アメリカ合衆国に大雷雨

7月3日(日)の夜ニュー・イングランドからコロラドにかけて、雷とトルネードを伴った大雷雨(electrical storm)があった。一時間雨量は約90mm(不確実)に達した所もあり、このためニュー・ジャージー州北部では洪水をおこし、約100家族が家を失った。

3. 暑さによる交通事故の増加

7月末からの暑さで、東京の交通事故は増え、7月5日(火)には戦後最高の記録がでた、この日だけで、東京の事故は507件、6名死亡、224名負傷。

4. 中国大陸の早ばつ

北中国では春に大早ばつがあり、そのため中国本土の約3分の1にあたる1億エーカー以上の土地が被害を受けた。早ばつの最もひどかったのは黄河および淮河流域である。

5. 静岡に塵旋風

7月8日(金)静岡県城東町で塵旋風がおり、一軒

を倒し、国立静岡病院、その他の窓ガラス数百枚をこわした。

6. 四国、中国地方で豪雨

7月7日(木)夜から8日にかけて四国、中国、近畿地方で豪雨があり、各地で地すべりがおき、死者を出した。

7. 台風第6号(Polly)第7号(Rose)

台風第6号(Polly)は7月19日(火)頃ルソン島の東北東約300マイルに発生、ゆっくりと北西に進み、沖縄の南方に停迷したのち、中国大陸に上陸した。

第7号(Rose)は本邦東方海上で転向して去った。

8. 寺田氏欧州出張

本学会会員、気象庁海洋気象部長 寺田一彦博士はオランダのユトレヒトで開かれる“世界気象機関海上気象委員会第3回会議”に出席のため8月10日から9月5日まで出張される。

9. 広野氏チリに出張

本学会会員、気象庁地震課長 広野卓蔵博士は、チリ地震現地調査のため8月10日から9月14日まで、チリに出張される。

国際数値予報シンポジウム便り(IV)

1. シンポジウムに要する資金の調達は、各方面の協力が得られて、おおむね所期の目標に達したので、詳細な実行計画にとりかかった。

2. 6月号に掲載した日程表を多少修正し、今までに集まったアブストラクトと共に印刷にとりかかることになった。